



最初のスタートはポジション取りでヒートアップ。セネラルリコールとなった

# 第51回パールレース 目まぐるしく変わった コンディション下、41艇が参加

昨年、記念すべき第50回を無事に終え、新たなフェイズに入ったパールレース。

51回を迎えたこの伝統あるレースは、新たな半世紀へ向けて第一歩を踏み出すべく、7月17日にスタートした。

写真とレポート／鈴木教之



石原慎太郎東京都知事(左端)が乗艇する〈コンテッサXIII〉のスタート前の様子



第51回パールレースの記念ポロシャツを5人の読者にプレゼントします。背中にJSAF外洋東海、JSAF、JSAF外洋湘南のパーズがデザインされています。ご希望の方は郵便番号、住所、氏名、JSAFメンバーの登録番号、「ポロシャツ希望」と明記のうえ、boatshow-2010@jsaf.or.jp宛てにメールで申し込んでください。サイズは指定できません



7月17日12時にダブルハンド、12分25分にIRC、ORCが江ノ島に向けてスタートした。参加数はダブルハンド2艇、IRC35艇、ORC4艇(五月風3)はトラブルのためスタートせず)となった。

ファーストホームは〈ESPRIT〉(所要時間は36時間17分5秒)。中盤からのリードを保ちそのままフィニッシュ。最終結果は、IRC総合が〈SHALLON V〉、IRC-Aは〈ESPRIT〉、IRC-Bは〈QUETEFEK〉、IRC-Cは〈SHALLON V〉、ORCは〈Tictac〉、ダブルハンドは〈さくら〉が優勝した。

スタート時から微風のためスローペースな展開になった。

終盤に風速が上がったものの、全レグの平均風速は5ノット未満だった。そのため40艇中フィニッシュしたのは26艇で、14艇がDNFとなった。

参加艇のなかには猛暑のためクルーの体調が悪くなりレースを諦めた艇もあった。風の読みはもちろんのこと体調の管理維持も夏のレースを乗り切るには欠かすことのできない一つのことだ。

今回のレースには〈CONTESSA XIII〉オーナーで東京都知事でもある石原慎太郎氏、石原伸晃氏、〈Smeralda〉オーナーでJSAF副会長の植松眞一氏なども参加した。前夜祭では石原慎太郎氏が参加艇一同に熱いエールを送られていた。そのエールを受けてかIRC、ORCのスタートではポジション争いがかなりヒートアップし、ゼネラルリコールとなり、再スタートとなつてしまった。

今回のレースは定時ロールコール、御前崎、利島通過でのロールコールにはGPSレコーダーによる艇の位置情報の把握を行った。今回使用したGPSレコーダーは手のひらにすっぽりと収まってしまいう小型のもので、取り付け場所などの制限もないため保管場所の設定が容易だったのでと思う。

スタート時には近隣の町から親子応援団を乗せた観覧艇が数隻応援に駆け付けていた。その船中ではレースの説明などがされていたようだ。他のスポーツと違い、目に見えるコートやラインのないヨットレースではレース海面での説明があることは見ている人にとつてわかりやすくヨットレースを理解してもらいには欠かせないことだと思う。

梅雨明け後の最初の3連休に行われたパールレース。前回より1週間早めて連休に開催することで、参加艇にとってはスケジュールの調整がしやすくなったようだった。